

矢総二期事業の着実な推進に向けて



農林水産省東海農政局 矢作川総合第二期農地防災事業所長 前田 茂

日頃より本事業の推進に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和8年4月に事業所長として着任いたしました。前所長に引き続きよろしく申し上げます。

本地区では、大規模地震への備えとして、農業水利施設の耐震化を目的とした「令和の大改修」に鋭意取り組んでおり、これまで用水受益者等の皆様のご理解とご協力により、着実に事業を進めてまいりました。一方、事業着工から10余年が経過し、受益状況の変化を踏まえ、①老朽化した施設の更新整備の一部追加、②同じ矢作川水系の国営土地改良事業「矢作川沿岸地区」の組み込みに係る事業計画変更の手続きを進めております。

今後、用水受益者等の皆様のご意見を踏まえ、必要な手続きを順次進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。併せて、計画的に工事を実施してまいります。特に現場周辺の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしますことから、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「矢総二期」とは??

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」、通称、矢総二期（やそうにき）地区は、大規模地震に備えて、農業水利施設の耐震化対策を行っています。

Q なぜ耐震化対策を行うの？

南海トラフ巨大地震に代表される大規模地震の発生確率が高まっており、特に本地域では、深刻な地震災害が懸念されています。一方、本地域の農業水利施設は、必要な耐震性がありません。これらが壊れ、農業生産や地域社会に甚大な被害を与えることを未然に防ぐため、耐震化を図っています。



明治用水頭首工



日本デンマークと呼ばれて100年
(田んぼアート(安城市))

Q どのような地域を守っているの？

本地域は、水稻、小麦等の大規模な土地利用型農業を中心として、特産品である果物や野菜も生産する優良農業地帯です。安城を中心とした碧海郡（現在の碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市）は、大正末期から昭和初期にかけて「日本デンマーク」と呼ばれていました。食料の国内生産の拡大が一層重要となる中で、本地域の農業をしっかりと守っていく必要があります。

矢作川総合第二期地区の計画変更を実施します

計画の概要（変更後）

- 受益面積 11,665ha
- 総事業費 1,312億円
(全体事業費 2,050億円)
- 工期 平成26年度～令和24年度（予定）
- 主要工事
 - 貯水池 1か所（羽布ダムの追加）
 - 頭首工 6か所（細川頭首工、乙川頭首工、鹿乗川頭首工、吉良古川頭首工の追加）
 - 揚水機 1か所（坂崎揚水機場の追加）
 - 用水路 42.0km
 - その他かんがい施設 1式

計画変更の主な要因、内容

- 農地転用による受益面積の変更
- 耐震化対策と一体不可分な更新整備の追加
- 「矢作川沿岸地区」の組み込み

※農家負担はこれまでに引き続き発生しません。

計画変更のスケジュール

- 令和7年6月：矢作川地域広域基盤確立推進協議会通常総会での計画変更方針の議決
- 令和7年度：農林水産本省における事業計画書の審査
- 令和8年6月：国営土地改良事業計画変更法手続以降（住民意見聴取、総代会議決など）
- 令和9年度：変更事業計画の確定

北部併設水路シールドトンネルが貫通しました！！



到達立坑に達したシールドマシン※



北部併設水路の概要

北部幹線水路は農業用水だけでなく、上水及び工業用水も通水しています。そのため、耐震化対策を行うに当たって、断水することが困難であることから、北部幹線水路の水を迂回させる施設として、北部併設水路を造成しています。

北部併設水路は、現在3つの区間（「北部併設水路の概要」赤線、青線、黄線の3つの区間）に分かれて施工しており、このうち最も下流側の区間（赤線の区間）において、令和6年3月からシールドマシン※による掘進を行ってまいりましたが、令和7年12月に2,850mもの掘進を終え、トンネルが貫通しました。本工事では今後、トンネル内に水を通すための内挿管を設置していきます。

その他、上流側の掘進や分合流施設などの工事を進め、令和12年度の完成を目指します！

※シールドマシンとは・・・

地中を掘りながらトンネルの壁を並行して組み立てていく工法（シールド工法）に欠かせない掘削機械

水のかんきょう学習館で出前授業を行いました！！



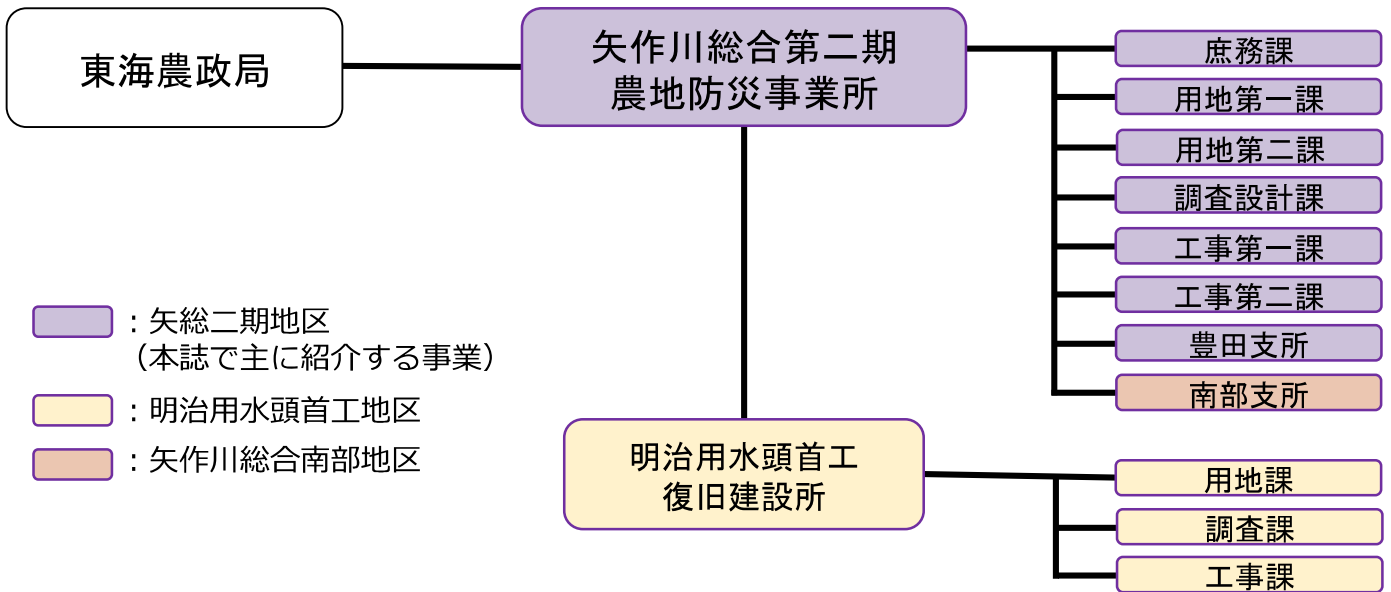
出前授業の様子

明治用水土地改良区 水のかんきょう学習館にて、7つの小学校を対象に、明治用水に関する内容や当事業所が行っている仕事の内容を説明しました。後日実施したアンケートでは「クイズが楽しく、内容も分かりやすかった」との意見があった一方で、「頭首工の仕組みが難しかった」といった意見もいただきました。

いただいた意見を踏まえて、より一層地域のみなさまに伝わりやすい広報発信に努めてまいります！



組織概要 (R8.4.1現在)



TOPIC

矢総二期事業所では、小学生への出前授業や工事見学会などイベントを多数開催しており、今後、本誌でも紹介予定です。お楽しみに！



生き物調査・環境学習会



農業に関する出前授業



トンネル見学会

編集・発行

農林水産省東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所
愛知県安城市大東町22番16号 TEL:0566-71-4611



本誌電子版は
こちらから

～編集後記～

「矢総二期だより」第3号をお読みいただきありがとうございます。令和7年度初めから発行をスタートした「矢総二期だより」ですが、早くも第3号を発行することができました。

今回は第2号に引き続き計画変更に関する内容や、今年度開通した北部併設水路シールドトンネルに関する内容、令和7年度に実施した広報活動の内容を一部紹介させていただきました。

今年度も本地区の事業内容や進捗状況について、みなさまに発信していくため、より一層、広報活動にも力を入れて取り組んでまいります。

地域の皆様には、工事による通行規制や振動・騒音等でご迷惑をおかけいたしますが、引き続き、円滑な事業推進へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(た)